

各常任委員会の審査

本会議から各常任委員会に付託された議案の審査の主な内容は、次のとおりです。各委員会では、請願・陳情の審査も行い、意見書を国などに提出するための議案を、本会議に提出しました。

総務企画

付託された議案は6件で
渋川地区広域市町村圏振興
整備組合の規約変更、共同
処理する事務の変更に伴う
財産処分、公益的法人等へ
の職員派遣に関する条例の
一部改正は、県下全域を一
組合とする農業共済組合が



移転したNOSA | 渋川広域の事務所

平成22年4月1日に設立さ
れることに伴い変更するも
のです。議員の報酬及び費
用弁償に関する条例・市長、
副市長の給与及び旅費支給
条例・職員の給与に関する
条例の一部改正は、期末手
当をO・35月引き下げるも
のです。

6議案とも全会一致で可
決されました。

核兵器の廃絶と恒久平和
を求める請願は、全会一致
で採択となり、電源立地地
域対策交付金の拡充、延長
に関する要望と共に、意見
書を本会議に提出しました。

市民経済

公の施設の指定管理者の指
定について

渋川市交流促進センター



SUNおのがみ

SUNおのがみに指定管理
者制度を導入し、施設の管
理を行わせるための議案で
指定管理者に前橋市のケー
ビックス株式会社を管理者
の対象として議論を重ね、
管理者選考委員の選考等を
含めた質疑等もありました
が採決の結果、賛成反対同

数で委員長裁決により否決
となりました。

請願は4件中2件を採択

社会的セーフティネット
の拡充を求める意見書採択
についての請願と改正貸金
業法の早期完全施行等を求
める意見書採択についての
請願は全会一致で採択とな
りました。後期高齢者医療
制度の即時廃止を政府に求
める請願書と生活費に見合
う年金引上げを政府に求め
る請願書の2件は賛成少数
で不採択となりました。

建設水道

付託された議案等があり
ませんでした。

教育福祉

1議案・3請願の審査を
行いました。

渋川市出産祝金支給条例を
廃止する条例について

出産祝金廃止に伴う財源
の代替事業や不妊治療助成
の検討等の質疑に対し、第
1子が小学校3年まで第3
子以降の幼稚園、保育園の
無料化の拡大、不妊治療な



老朽化した渋川学校給食共同調理場

ど総合的に今後検討してい
きたい旨の答弁がありまし
た。ほかに、時期尚早、金
額を減額しても継続、祝金
は少子化に効果があつたの
か疑問等の意見が出され、
採決の結果、賛成多数によ
り原案どおり決しました。
請願の取り扱いについて
3件の請願の審査を行
いました。保育制度の堅持を
求める2請願については全
会一致で、また学校給食の
自校方式を守り拡充を求め
る請願は多数決により、そ
れぞれ願意妥当と認め採択
しました。

一般質問



白井城址

安心して暮らせるまちづくり

須田 勝 議員

赤城地区前田踏切前後（東西）の道路改良を

質問 踏切内関係のＪＲや公安当局とは切り離しての

質問とし、通行可能な農耕車などの小型特殊自動車や電動シルバーカーが、通行するにあたって、市民が安心して暮らせる観点から、踏切前後の道幅を可能な限

り安全な退避所として使用できる道路改良を早急にしていただけるか。

答弁 踏切前後（東西）の道路改良については、踏切

区間が整備されませんと違反車両の増加など事故が危惧され、現時点では対応できない旨、既に回答のとおりです。今後、東西の道路

拡幅や側溝整備等について、地元皆様のご意見もお聞きし努力していきます。

生活不安の解消は

質問 市民がかかえる、あらゆる不安の中から、地域

生活での不安で、人口や世帯数の減少防止対策として、結婚対策事業、一人世帯主

に独居老人対策、空き家対策等、取り組みと不安解消につながる施策は。

答弁 市では、緊急通報装置や福祉電話の設置、配食

事業等を実施しています。

コミュニティFM放送・観光施策

中澤 広行 議員

FM放送のコンセプト

質問 市長の新しい政策の中

で、コミュニティFM放送が打ち出されましたが、どんなコンセプト（目的）で行うのか。

答弁 行政情報の提供、地

域経済の活性化、地域情報の発信拠点、災害時の情報伝達などのFM放送局導入

の効果があげられます。

事業形態

質問 放送局の事業形態はどう

考えているのか。

答弁 民間企業の参加が不可

欠であり、市民や企業の意見を聴き研究を進めます。

質問 電波の届く範囲等の

最低限の調査を行うことや、庁内での専門的組織を任命

総合計画では子育て環境の充実をはじめ様々な施策に取り組み、人口減少に歯止めをかけ、目標人口を8万人以上としています。空き家については、消防署、地元自治会等と連携し、出火防止に努めます。

質問 一人世帯の不安解消

として家庭電話での福祉110番回線開設の考えは。

答弁 市や地域における支

え合い、見守り活動等、他市の事例も収集し研究していきたいと考えます。

することはあるか。

答弁 設立準備体制や運営

形態を含め、開局に必要な電界調査など市のかかわり方について検討を進めます。

白井城の復元

質問 市のシンボルとして

白井城の復元を上げているが、発掘調査等を行うつもりはあるか。復元に向け、

歴史家などを踏まえて組織するつもりはあるか。

答弁 平成18年に小規模の

調査を行っていますが、整備計画を策定するにあたり

では、発掘調査等が必要で

す。専門有識者による委員会等を検討します。

伊香保温泉の役割

質問 まちづくり交付金事

業の行方が、事業仕分けに左右されているが、市単独でも行うのか。今後の伊香保温泉の役割は。

答弁 事業仕分けで、まち

づくり関連事業は地方移管という結論だが、現時点では不透明です。市では伊香保温泉を観光の核としていくことに変わりありません。



独居老人等の緊急通報システム